

(アティクション)

# 薬物への嗜癖と回復過程

～当事者・支援者・住民とともに考える～

日時：7月25日(水) 18:00～19:30

場所：京都文教大学サロン・ド・パドマ

スケジュール：

18:00～18:25	薬物依存って何だろう？
18:25～18:40	ダルクってどんなところ？
18:40～19:10	当事者の体験談
19:10～19:30	全体ディスカッション

ゲスト：NPO法人アパリ木津川ダルク施設長 加藤武士氏、  
木津川ダルク、京都ダルク、京都マックの皆さん

進行：京都文教大学臨床心理学部准教授 松田美枝

物質やその他の対象に依存することを「嗜癖(しへき)」といいます。私たちが依存しがちなものといえば、アルコール、薬物、ギャンブル、ネット、恋愛、買い物、煙草など、多様です。人生が思い通りにいかない時、孤独な時、疲れている時など、人は心や行動がそういった対象に向かいやすくなると考えられます。

本講座では「薬物依存」に限定して、当事者の体験談を聴きつつ、依存症という病について知り、どのように回復していくのか理解を深めたいと思います。その上で、当事者との関わり方について、疑問や不安などを出し合いながら、ざっくばらんに話し合いたいと思います。

※定員100名程度、参加無料、事前申込不要。

※公共交通機関にてお越しください(特別な配慮が必要な方は除く)。

なお近鉄向島駅発のスクールバス(無料)をご利用いただけます。

バスダイヤ【近鉄向島駅発 17:35、17:50、18:05】(本学までの所要時間約5分)

【お問い合わせ先】

京都文教大学フィールドリサーチオフィス

電話：0774-25-2630 / Mail：fro@po.kbu.ac.jp

【主催】

平成26年度採択 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業) 京都文教大学「京都府南部地域ともいき(共生)キャンパスで育てる地域人材」ともいき研究「アティクション問題への新たなアプローチについての探索的研究」